

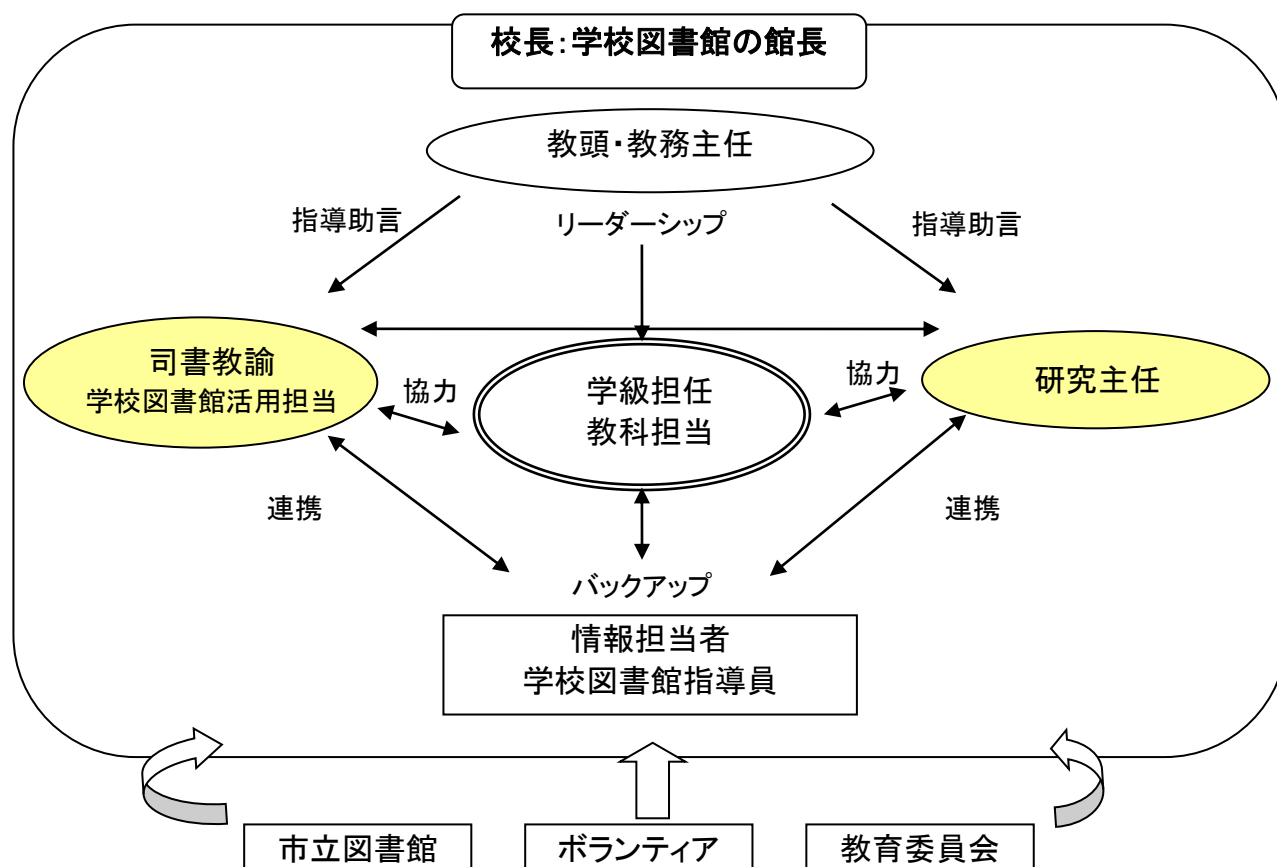
3 学校図書館 経営計画

Q3 学校図書館の経営計画の立て方は

A3 校内で組織をつくり、学校に合った年間計画を立てましょう

(1) 校内組織

「教育課程の展開に寄与する」という学校図書館の目的をふまえ、その運営の中心となる司書教諭、および図書主任は、学校組織の中核であるという自覚をもって、リーダーシップを発揮します。特に、学校図書館と情報教育や視聴覚教育との連携、一体化はとても大切です。



『変わる学校図書館』(平成11年文部省初等中等教育局)より抜粋 一部、指導課が修正(平成31年1月)

(2) 校内研修

年度当初、「学校図書館活用」について全教職員が共通理解できるよう、以下の点を提案します。

- ① 学校図書館の定義や司書教諭について、学校図書館法の抜粋を示し、法的根拠を明らかにする。
- ② めざす学校図書館の姿やその達成のための、本年度の具体策を示す。
- ③ 図書館にある図書以外の資料(新聞、雑誌、CD-ROM等)の存在を示す。
- ④ 利用方法を示す。
- ⑤ 図書館指導員の紹介と、日常業務を明らかにする。
- ⑥ 「図書流通システム」の利用方法を示す。
- ⑦ 教科等での学校図書館活用を推進しており、実践報告をすることを伝える。